

修了試験時
持込不可

東京都排出総量削減義務と排出量取引制度
2026年度検証主任者等講習会 資料②

総量削減義務と排出量取引制度における 特定温室効果ガス排出量**検証**ガイドライン

以下の点にご注意ください。

※修了試験時に本資料を机上へ置いている場合、試験を中断し、退出いただきます。

※本資料は、次のガイドラインに基づいて作成されています。

特定温室効果ガス排出量算定ガイドライン（令和8年4月 第4計画期間版）

特定温室効果ガス排出量検証ガイドライン（令和8年4月 第4計画期間版）



東京都環境局

検証の基本的考え方

(検証ガイドライン p.2)

- 本制度における排出量の検証とは、算定された排出量を以下の観点から**第三者の立場**でチェック・判断するもの。
- 事業所が行った算定が、「特定温室効果ガス排出量算定ガイドライン」に従って行われているか。
- 算定や集計の結果が適切か。

検証業務の流れ (検証ガイドライン p.3)

検証の計画 (第2章)

- ・ 検証計画に関する書類の作成
利害相反の回避の確認、検証業務を行う人員の編成
事前の概要把握、検証留意事項の評価を踏まえた検証の実施手順の決定
燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する検証方法の設定
(品質管理手順における確認項目)
- ・ 検証スケジュールの作成及び提出
- ・ 「サンプリング計画書」の作成 (サンプリング検証を選択する場合)



検証の実施 (第3章)

- ・ 事前説明
- ・ 検証チェックリストを用いた検証
- ・ 排出量検証実施報告書を用いた検証
- ・ (検証機関による質問)



検証結果のとりまとめと報告 (第4章)

- ・ 検証結果のとりまとめ
- ・ 検証結果の品質管理手続及び検証報告書の確定
- ・ 検証結果報告書の提出

説明の内容

検証の計画（第2章）

- ・ 検証計画に関する書類の作成
利害相反の回避の確認、検証業務を行う人員の編成
事前の概要把握、検証留意事項の評価を踏まえた検証の実施手順の決定
燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する検証方法の設定
（品質管理手順における確認項目）
- ・ 検証スケジュールの作成及び提出
- ・ 「サンプリング計画書」の作成（サンプリング検証を選択する場合）

検証の実施（第3章）

- ・ 事前説明
- ・ 検証チェックリストを用いた検証
- ・ 排出量検証実施報告書を用いた検証
- ・ （検証機関による質問）

検証結果のとりまとめと報告（第4章）

- ・ 検証結果のとりまとめ
- ・ 検証結果の品質管理手続及び検証報告書の確定
- ・ 検証結果報告書の提出

検証の計画(第2章)の内容

(検証ガイドライン pp.3-9)

1 検証計画に関する書類の作成

(1) 利害相反の回避の確認

利害相反:「検証機関の登録申請ガイドライン」参照

(2) 検証業務を行う人員の編成

検証主任者等:「検証主任者」、「検証担当者」

利害相反:「検証機関の登録申請ガイドライン」参照

(3) 事前の概要把握

(4) 検証留意事項の評価

(5) 燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する検証方法の設定

(6) 品質管理手続における確認項目

2 検証スケジュールの作成及び提出

3 「サンプリング計画書」の作成

検証機関・検証人の利害相反の回避

(検証ガイドライン p.4)

■ 利害相反の回避の確認

検証先事業所と契約締結する前に、利害相反に抵触していないことを確認しなければならない(「**検証機関の登録申請ガイドライン**第2部第2章 2 業務遂行上の遵守事項 (1) 利害相反の回避」を参照。)

■ 検証業務を行う人員の編成

検証業務を担当させるため**検証主任者等**(「**検証主任者**」及び「**検証担当者**」)による人員を編成する。担当する全ての者が「**検証機関の登録申請ガイドライン**」に定める**利害相反**に抵触していないことを確認しなければならない。

※担当する全ての者についての役割分担をあらかじめ明確にし、検証計画に関する書類に記載しなければならない。

事前の概要把握 (検証ガイドライン p.5)

- ・ 検証主任者等は**検証業務の計画に当たり**、検証先事業所の事業内容、排出活動・削減活動(非化石燃料を除く)及び燃料等使用量監視点の概要把握のための情報をあらかじめ入手し、又は閲覧することが望ましい。
 - ※特に**燃料等使用量監視点や伝票類が多い場合**は、燃料等使用量の検証方法の設定にも影響するため、できるだけ情報収集しておく。

概要把握のための情報(例)

- ・ 検証先事業所の概要(パンフレットなど)
- ・ 検証先事業所が作成した特定温室効果ガス排出量算定報告書、昨年度の特定温室効果ガス排出量算定報告書及び検証結果報告書
- ・ 事業所内建物配置図、隣接する敷地内配置図、住宅地図
- ・ テナント一覧、テナント占有スペースを記した図面等
- ・ 事業所内配電図、事業所内空気調和設備系統図、ガス配管図、消防法の危険物貯蔵・取扱施設の届出(東京都火災予防条例の危険物貯蔵・取扱施設の届出)購買伝票の種類及び数、燃料等購買データの件数等
- ・ 燃料等を使用している設備や燃料等使用量を計測しているメータ等の写真や動画等
- ・ 事業所範囲や建物等を示す写真や動画等

検証留意事項の評価

(検証ガイドライン pp.5-6)

- 検証主任者等は、概要把握に基づき、あらかじめ検証留意事項について抽出し、その評価を行い、特定すること。また、その結果について、検証計画に反映させなくてはならない。

検証留意事項(例)

- ある排出活動・燃料等使用量監視点等における燃料等使用量の集計・報告作業を複数の人間・部署・組織で行っていて、集計・報告の**ミスが生じやすい状況**となっている。
- ある排出活動・燃料等使用量監視点等における燃料等使用量の集計・報告作業の担当者が担当となってから日が浅く、集計・報告の**ミスが生じやすい状況**となっている。
- 前年度と比較して大幅な設備変更や組織変更があり、集計・報告の**ミスが生じやすい状況**となっている。
- ある燃料等使用量について、実測データの記録を自動記録ではなく転記している。
- ある排出活動・燃料等使用量監視点等における燃料等使用量について、算定体制図どおりにデータが集計報告されていない。
- 昨年度の検証で誤りが見つかった。
- 昨年度の報告値から大きくかい離している。

燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する 検証方法の設定 (検証ガイドライン pp.8-10)

イ サンプルング検証

「燃料等使用量」シート等から**検証する対象をサンプルングした上で、検証**を行う方法である。燃料等使用量監視点または帳票の数が多い場合に選択できる。具体的には以下の要件を**すべて**満たす場合

【サンプルング検証を選択するための要件】

- 検証先事業所において**データ採取、集計報告等**の明確なルールが定められており、**担当者等に周知されていること。**
- **同一の燃料等の種類***で燃料等使用量監視点が**10箇所以上**あること **又は**同一の燃料等使用量監視点で**検証に用いる燃料等購買データを年間で200件以上**有すること。
- エネルギーの外部への供給や住宅等**算定対象外活動**に関する**燃料等使用量監視点等でないこと。**
- 事業所内外の**再生可能エネルギー設備**からの電気、熱の利用に関する燃料等使用量監視点等**でないこと。**

すなわち

外部供給と算定対象外の監視点は全数検証

※ここでいう「同一の燃料等の種類」とは、電気、都市ガス、熱の場合、エネルギー供給事業者等と排出係数が共通であり、供給契約も同一であることが確認できるものに限る。

品質管理手続における確認項目

(検証ガイドライン pp.8-10)

プロセスレビュー及びテクニカルレビューを実施するにあたり、確認すべき項目については、あらかじめ「**検証計画に関する書類**」に記載しておかなければならない。ただし、**検証業務規程**に特定ガス・基準量に関する**品質管理手続の定めがある場合には、検証計画に関する書類に記載する必要はない。**

検証スケジュールの作成及び提出

(検証ガイドライン p.9)

「**検証計画に関する書類**」に基づき、検証業務を行う人員編成及び役割分担、全体の検証行程(現地検証では当日の行程を含む)を示した「**検証スケジュール**」を作成し、あらかじめ検証先の事業所に提出する。

算定データ記入ラインの選択の要件 (検証ガイドライン p.9)

次の要件を**全て**満たさなければならない。

- **前回検証時から変化のあった算定データ記入ライン**(新規の監視点が含まれるもの、計器の種類の変更等) を**全て選択**すること。
- **燃料等使用量監視点箇所数の20%以上をカバー**すること。その際、**検証留意事項**に関する燃料等使用量監視点を**優先的に選択**すること。

検証対象月の選択の要件 (検証ガイドライン p.9)

次の要件を満たさなければならない。

- 選択した**検証対象月の燃料等使用量の合計値**が当該燃料等の種類の燃料等使用量の**20%以上**をカバーしていること(事業者が算定した値を用いて計算する。)

サンプリング計画書作成の例

(検証ガイドライン p.10、B号様式)

サンプリング計画書															検証実施日		2026年9月19日					
検証先の事業所名称		銀杏製作所東京工場													バージョン		1					
指定番号		9999																				
検証の対象年度		2025																				
															(2025) 年度		検証対象月の選択					
燃料等監視点	排出活動	燃料等の種類	排出係数 (t-CO ₂ /固有単位)	把握方法	検定等の有無	単位	使用量 (2025年4月 ~ 2026年3月)												乗率	計	選択の理由	燃料等の種類のカバー率
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
3	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	91,001	57,885	61,536	74,511	57,289	29,612	79,414	27,283	84,280	86,353	145,379	114,858	909,401	検証留意事項	19.1%	
4	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	72,071	92,285	38,479	10,438	99,674	51,043	-	-	-	-	-	-	363,990	変化あり	7.8%	
5	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	35,247	32,315	44,888	58,490	89,213	11,331	18,570	54,938	97,215	83,061	92,201	93,036	710,505			
6	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	91,435	51,347	40,044	53,084	44,864	81,548	90,562	74,317	94,398	51,136	21,818	91,418	785,971	検証留意事項	3.7%	
7	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	4,020	2,758	2,766	3,721	7,413	8,609	9,169	4,354	1,037	5,905	4,267	2,331	56,350			
8	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	8,357	8,644	9,713	6,137	2,152	9,446	9,453	5,608	7,044	388	2,366	9,549	78,857			
9	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	6,787	389	243	0	0	0	0	0	4,829	6,897	2,437	2,138	23,720	変化あり	0.1%	
10	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	2,655	293	302	9,738	3,768	8,551	890	4,836	6,983	9,006	5,688	5,276	57,986			
11	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	7,881	8,337	3,656	8,988	6,863	8,628	4,000	4,809	-	-	-	-	53,157	変化あり	0.5%	
12	燃料の使用	都市ガス	2.05	購		m3	6,504	2,777	3,306	8,106	4,482	1,419	4,951	187	8,687	7,389	2,693	6,922	57,411			

①算定報告書の燃料等使用量シート及び燃料等使用量(電気・熱・都市ガス)シートの記入内容のうち、サンプリングの対象となる燃料等についてを転記する。

③選択する検証対象月に色をつける。

②選択する算定データ記入ラインの選択の理由を選択する。

④燃料等の種類ごとのカバー率を入力する。

※サンプリング計画書は巻末資料としてガイドラインに添付されています。

サンプリング計画書作成の例

(検証ガイドライン pp.9-10、B号様式)

燃料等の種類別のカバー率を確認
(合計**20%**以上)しながら検証対象月を選択する。

閉栓等の場合は「-」を記入

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	乗率	計	選択の理由	燃料等の種類のカバー率
91,001	57,885	61,536	74,511	57,289	29,714	79,414	27,283	84,280	86,353	145,379	114,858		909,401	検証留意事項	19.1%
72,071	92,285	38,479	10,438	99,674	51,043	-	-	-	-	-	-		363,990	変化あり	7.8%
35,247	32,315	44,888	58,490	89,213	11,331	18,570	54,938	97,215	83,061	92,201	93,036		710,505		
91,435	51,347	40,044	53,084	44,864	81,548	90,562	74,317	94,398	51,136	21,818	91,418		785,971	検証留意事項	3.7%
4,020	2,758	2,766	3,721	7,413	8,609	9,169	4,354	1,037	5,905	4,267	2,331		56,350		
8,357	8,644	9,713	6,137	2,152	9,446	9,453	5,608	7,044	388	2,366	9,549		78,857		
6,787	389	243	0	0	0	0	0	4,829	6,897	2,437	2,138		23,720	変化あり	0.1%

購買実績がない場合は「0(ゼロ)」を記入

サンプリング対象となる燃料等の種類のみ記入

※サンプリング計画書は巻末資料として
ガイドラインに添付されています。

※燃料等の種類別の燃料等使用量の合計値

都市ガス	3,097,348
	0
	0
	0
	0

説明の内容

検証の計画（第2章）

- ・ 検証計画に関する書類の作成
利害相反の回避の確認、検証業務を行う人員の編成
事前の概要把握、検証留意事項の評価を踏まえた検証の実施手順の決定
燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する検証方法の設定
（品質管理手順における確認項目）
- ・ 検証スケジュールの作成及び提出
- ・ 「サンプリング計画書」の作成（サンプリング検証を選択する場合）

検証の実施（第3章）

- ・ 事前説明
- ・ 検証チェックリストを用いた検証
- ・ 排出量検証実施報告書を用いた検証
- ・ （検証機関による質問）

検証結果のとりまとめと報告（第4章）

- ・ 検証結果のとりまとめ
- ・ 検証結果の品質管理手続及び検証報告書の確定
- ・ 検証結果報告書の提出

検証の実施(第3章)

(検証ガイドライン pp.10-17)

1. 概要
2. 事前説明
3. **検証チェックリスト**を用いた検証
4. **排出量検証実施報告書**を用いた検証
5. 検証機関による**質問**

1. 概要

(検証ガイドライン p.11)

- 排出量の検証には、基本的に以下の様式を使用する。

様式	検証する内容
検証チェックリスト (C-1号様式) 根拠とした図面等 資料一覧表 (C-2号様式)	事業所の行った算定手順や算定の基準が、「特定 温室効果ガス排出量算定ガイドライン」に従って 行われているかの判断
排出量検証実施報告書 (D号様式)	算定や集計の結果が適切かの判断

1. 概要 (検証ガイドライン p.11)

「検証対象がないことの確認方法」

- ・ガイドラインに示された具体的資料で、**直接**「ないこと」を判断できるもの
⇒ 具体的資料の確認、ヒアリング及び目視又は写真や動画等により、「ないこと」が確認できた場合**「適合」**とする。
- ・ガイドラインに示された具体的資料で、**直接**「ないこと」を判断できないもの
⇒ 信憑性の高い資料の確認、ヒアリング及び目視又は写真や動画等により、「ないこと」が確認できた場合**「適合」**とする。
- ・**算定報告書への記載の有無**によって検証チェックの必要性が判断できる場合
⇒ 算定報告書への記載がない場合**「該当なし」**とする。

1. 概要 (検証ガイドライン p.11)

＜検証の実施＞

検証の実施に当たっては、検証先事業所で現物を目視、情報通信技術(ICT)を活用し写真や動画等を用いた確認、現場担当者等へヒアリング等の検証を行うこと。

＜根拠資料による確認＞

エネルギー管理の連動性、近隣の建物等の敷地範囲や燃料監視点などについて、検証対象がないことを図面等根拠資料を用いて確認すること。

＜検証主任者登録証等の提示＞

検証を開始する前に、検証主任者にあつては東京都が発行した検証主任者登録証を、検証担当者にあつては東京都が実施した検証主任者等講習会の修了証を事業者**に必ず提示**すること。

2. 事前説明 (検証ガイドライン p.12)

検証に先立ち、検証先の事業者に対して、検証業務の理解を促進するため、検証計画、検証業務遂行上の遵守事項等について、十分に説明する。

3. 検証チェックリストを用いた検証 (検証ガイドライン p.12)

C-1号様式(特定温室効果ガス排出量検証ガイドライン) 検証チェックリスト

検証先の事業所名称		指定番号	検証対象年度	検証の種類				検証機関名	登録番号		
No.	算定報告書の項目番号	検証チェック項目	根拠とした資料 資料の有無と資料番号	現地目視	ヒアリング	判断内容 適合 不備あり 不明 該当なし			検証結果の判断理由	適合でない場合の事業者の対応	備考
1	1	<事業所情報の確認> 事業所の名称、所在地、指定番号は、正しく報告されているか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	/	<input type="checkbox"/>			/			
2	2(1)(2)	<事業所範囲の特定> 事業者が所有する「建物等」はガイドラインに従い正しく識別されているか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			/			
3	2(1)(2)	<事業所範囲の特定> 事業者が所有する「建物等」はガイドラインに従い正しく識別されているか。(指定後に、一つの事業所として見なす状況に変化が生じている場合は、判断理由にその詳細を記載すること。)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			/			
4	2(1)(2)	<事業所範囲の特定> エネルギー管理の連動性はガイドラインに従い正しく把握されているか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			/			

※検証チェックリストは巻末資料としてガイドラインに添付されています。

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.12-16 C-1号様式)

- ①基本的には記載された順番どおりに検証チェック項目に示す検証を行う。
- ②検証の種類欄で「指定確認時」若しくは「年度検証」を選択する。

検証先の事業所名称		指定番号	検証対象年度	検証の種類 指定確認時		検証機関名	登録番号			
No.	算定報告書の項目番号	検証チェック項目	根拠とした資料		検証結果					
			資料の有無と資料番号	現地目視	ヒアリング	判断内容		検証結果の判断理由	適合でない場合の事業者の対応	備考
1	1	<事業所情報の確認> 事業所の名称、所在地、指定番号は、正しく報告されているか。								
2	2(1)(2)	<事業所範囲の特定> 事業者が所有する「建物等」はガイドラインに従い正しく識別されているか。								
3	2(1)(2)	<事業所範囲の特定> 事業者が所有する「建物等」はガイドラインに従い正しく識別されているか。(指定後に、一つの事業所として見なす状況に変化が生じている場合は、判断理由にその詳細を記載すること。)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

①検証する項目の内容

②検証の種類
⇒検証チェック対象外はグレーアウトになる。

※検証チェックリストは巻末資料としてガイドラインに添付されています。

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン p.12)

指定に係る確認書に対する検証の際は「指定確認時」、年度排出量の検証の際は「年度検証」を選択する。下表に定める「検証チェック項目」の検証を実施すること。

	検証を実施する検証チェック項目番号
指定確認時	1から48まで(3,5,7,9,12,16,25,42を除く。)
年度検証	1から48まで(2,4,6,8,10,11,15を除く。)

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.12-17 C-1号様式)

- ③本ガイドライン第2部の「検証のポイント」に示す根拠資料と確認手段の中から選択。根拠とした資料、現地目視、ヒアリングのうち、該当するものには全てチェックを入れる。
 ※書類等の確認を行わずに、現地の目視、写真や動画等を用いた確認、担当者等へのヒアリングのみで済ませることは原則認められないが、例外的に第三者が作成した最新資料(住宅地図等)で確認可能な場合は認める。
- ④選択した根拠資料等に基づき、検証チェック項目の検証結果欄の「適合／不備あり／不明／該当なし」のいずれかにチェックをする。あわせて、**判断の概要を「検証結果の判断理由」欄に記入**する。
- ⑤「**不備あり／不明**」の場合は、判断理由を記入し、**事業者の対応も記載**する。

検証先の事業所名称		指定番号	検証対象年度	検証の種類	検証機関名	登録番号						
No.	算定報告書の項目番号	検証チェック項目	検証結果				備考					
			根拠とした資料	現地目視	ヒアリング	判断内容		検証結果の判断理由				
			資料の有無と資料番号			適合	不備あり	不明	該当なし		適合でない場合の事業者の対応	
1	1	事業所情報の確認 事業所の名称、所在地、指定番号は、正しく報告されたか。	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無()		<input type="checkbox"/>							
2	2(1)(2)	事業所情報の確認 事業所情報の確認	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無()									
3	2(1)(2)	事業所情報の確認 事業所情報の確認	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無()									

③判断の根拠とした資料の有無にチェック、有る場合のC-2号様式資料番号

④検証結果のチェックと判断理由

⑤不備あり／不明のときの事業者の対応

検証チェックリストは巻末資料としてガイドラインに添付されています。

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン p.16 C-1,2号様式)

■ 再検証の実施

「不備あり」「不明」の事業者による対応の結果については、(後日)確認し、新たな検証チェックリストへ記入する(新たな検証チェックリストへの記入は、再検証を行った箇所だけでよい。再検証を行わない検証チェックリスト項目は、新たな検証チェックリストに記載しなくてよい)。

再検証を行った箇所のみ記入、**再検証を行った項目のみ抽出して印刷する。**
※再検証していないチェック項目は印刷しない。
(表紙は全バージョンを印刷・添付すること。)

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.12-14 C-2号様式)

■ 根拠資料・確認手段の選択

- 事実に該当しないため根拠資料が存在しない場合を除き、原則として、これらの**最新の書類等**を用いて検証を行わなければならない(書類等の確認を行わずに、現地の目視、写真や動画等を用いた確認、担当者等へのヒアリングのみで済ませることは原則認められないが、例外的に第三者が作成した最新資料(住宅地図等)で確認可能な場合は認める。)
- 検証で根拠とした図面等資料は「根拠とした図面等資料一覧表」(C-2号様式)を用いて記録する。

C-2様式(特定温室効果ガス排出量検証ガイドライン)

根拠とした図面等資料一覧表

検証先の事業所名称			指定番号	検証の対象年度	登録番号	検証機関名		
資料No.	根拠に用いた資料	資料名			資料発行元	資料発行年月日	資料確認年月日	備考
1	特定地球温暖化対策事業所指定通知書				東京都環境局			
2	指定地球温暖化対策事業所指定通知書				東京都環境局			
3	工事の実施場所、実施期間を示す記録							
4	工事に係る取引または証明に使用可能な計量器による実測の記録							

※根拠とした図面等資料一覧表は巻末資料としてガイドラインに添付されています。



3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.13-14)

■「根拠とした図面等資料一覧表」記入要領(概要)

項目	記入要領
資料No.	<ul style="list-style-type: none">・ 1行につき、1資料を記入・ 同一資料No.の資料が複数ある場合は、直後に行を追加し、枝番を割り付ける・ 使用しなかった根拠とした図面等資料の項目は、非表示とすることができる。・ 資料No.は変更してはならない
根拠に用いた資料・資料名	<ul style="list-style-type: none">・ 該当資料のみ記載する。・ 資料名等の情報を記入する。使用しない項目は非表示にすることができる。
資料発行元	<ul style="list-style-type: none">・ 公的機関名・部署名、または、発行者・製作者名を記入する。・ 文書の発行者・製作者名が不明の場合は、図面等に記載されている製作事業者・部署名を記入する。

資料発行元は(不明を含めて)必ず記入すること。

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.13-14)

■「根拠とした図面等資料一覧表」記入要領(概要)

項目	記入要領
資料発行年月日	<ul style="list-style-type: none">・許認可文書 受領日又は通知日を記入する。・文書、図書類 発行年月日を記入する。・発行年月日が不明の場合は、図面等に記載されている製作年月日を記入する。・更新されている図面等を使用する場合、最終更新日を記入する。・日付まで確認できない場合はわかる範囲で月もしくは年まで記入する。・不明の場合は不明と記入する。
資料確認年月日	<ul style="list-style-type: none">・検証主任者が事業所から資料の提供を受け、検証を実施した日付を記入する。・入手日が不明の場合は、提供を受けて初めて検証を行った現地検証日を記入する。・閲覧のみ許可された場合は、閲覧日を記入する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・検証機関が自由に記入して構わない。 (使用した検証チェックリストの項目No.等)

資料発行年月日、資料確認年月日は(不明を含めて)**必ず記入**すること。

3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン pp.14-15)

■ 検証結果の判断

根拠資料や確認手段に基づき、検証チェック項目の検証結果をガイドラインの「第2部 排出量の検証方法と判断規準」および下表に従って判断し、「検証結果」欄の適合／不備あり／不明／該当なしのいずれかにチェックする。

項目ごとの 検証結果の種類	検証結果の基準
適合	算定報告書に記載された情報が、「算定ガイドライン [※] 」に従って報告(算定・表示)されている。
不備あり	記載すべき情報であるにもかかわらず算定報告書に記載がない、又は記載された情報が、「算定ガイドライン」に従って報告(算定・表示)されていない。
不明	証拠が入手できない、又は不十分であるため、算定報告書に記載された情報が「算定ガイドライン」に従って報告(算定・表示)されているかどうかの判断ができない。
該当なし	検証先事業所の排出形態等が項目に該当しない。 ただし、事実が存在しないことの確認が必要な場合は、「該当なし」としてはならない。

[※]「特定温室効果ガス排出量算定ガイドライン」を指す。本スライド以降「算定ガイドライン」と記載。

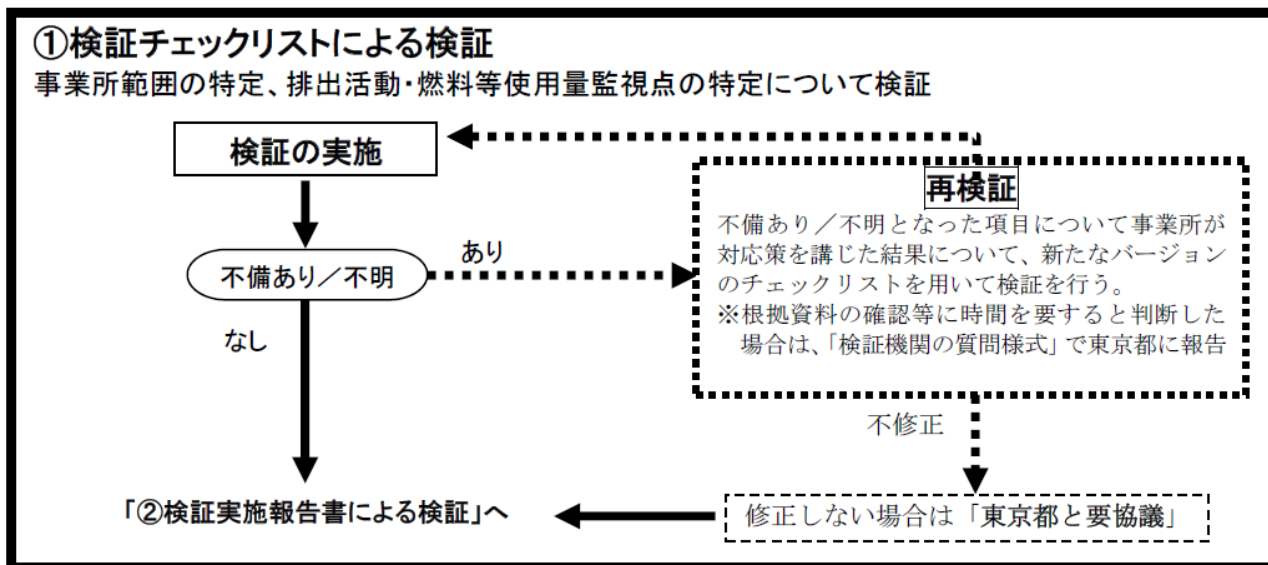


3. 検証チェックリストを用いた検証

(検証ガイドライン p.16、p.23)

■「不備あり」「不明」の場合の対応、再検証の実施

- ①不備あり／不明と判断したバージョンの**チェックリストを保存**。
- ②**新たなバージョンのチェックリストを用いて、不備あり／不明の箇所だけ再検証**を行う。事業所が修正するなどの対応策を講じた結果を記録し、その結果、適合と判断した場合は判断結果を「適合」とする。
- ③**事業所が修正に応じない場合は、そのまま再検証を行わず「東京都と要協議」とする**(「**検証結果の詳細報告書**」に示す。)

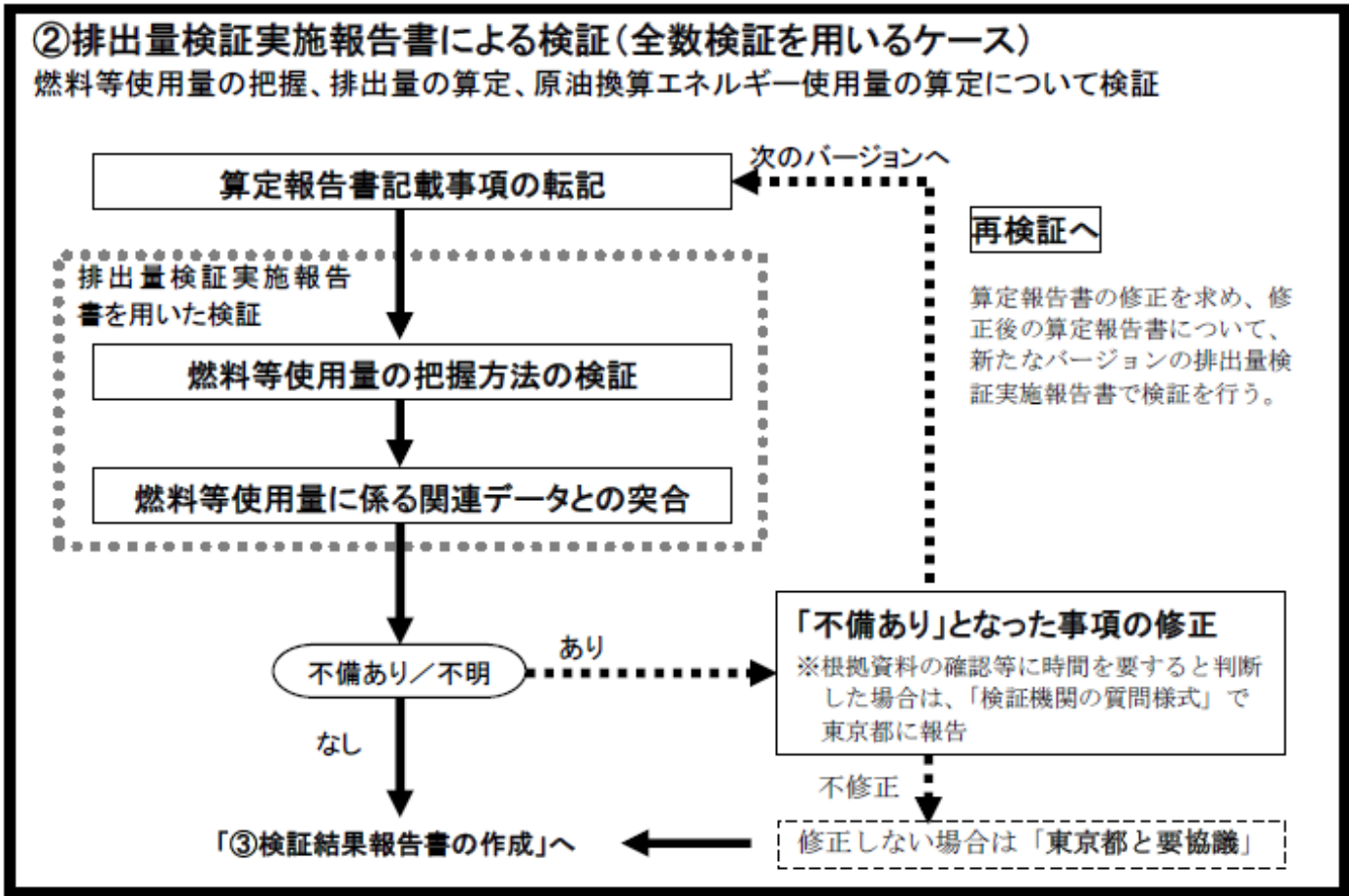


4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.16-20、p.23)

■ 算定や集計の結果が適切であるかの検証

通常(全数検証を用いる場合)



4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.16-17 D号様式)

(1) 算定報告書記載事項の転記

通常 (全数検証を用いる場合)

算定報告書の「燃料等使用量」等シートから

排出量検証実施報告書へ転記

(5)-2 燃料等使用量(電気・熱・都市ガス)

燃料等監視点	排出活動	燃料等の種類	供給会社等	メニュー有無	排出係数根拠	メニュー別契約名称	排出係数(t-CO2/固有単位)	再エネ率(%)	把握方法	検定等の有無	都市ガスメーター種	単位	使用量 (2025年4月 ~ 2026年3月)												乗率	計	単位発熱量(GJ/固有単位)	熱量(GJ)	排出量(t-CO2)																								
													2025年4月			2025年5月			2025年6月			2025年7月								2025年8月			2025年9月			2025年10月			2025年11月			2025年12月			2026年1月			2026年2月			2026年3月		
													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
1	電気の使用	一般送配電事業者の電線網を介して供給された電気	東京電力エナジーパートナー	無	公表値		0.376	13.6	購			kWh	12,833	11,592	11,506	14,165	13,933	12,640	12,674	13,505	12,637	12,873	10,906	13,14		152,497	8.64	1,317	57																								
2	電気の使用	一般送配電事業者の電線網を介して供給された電気	東京電力エナジーパートナー	無	公表値		0.376	13.6	購			kWh	7,353	6,113	7,668	9,493	6,008	7,640	8,751	9,349	5,368	7,647	6,627	7,43		89,450	8.64	773	34																								
3	燃料の使用	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正有り	m3	91,001	57,885	61,536	74,511	57,289	29,612	79,414	27,283	84,280	86,353	145,379	114.8		999,401	40.00	36,376	1,864																								
4	燃料の使用	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正有り	m3	72,071	92,285	38,479	10,438	99,674	51,043											363,990	40.00	14,560	746																					
5	燃料の使用	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正無し	m3	35,247	32,315	44,888	58,490	89,213	11,331	18,570	54,938	97,215	83,061	92,201	93,03		710,505	40.00	28,420	1,457																								
6	熱の使用	産業用蒸気	大手町	無	公表値		0.06	20	購			GJ	92	18	74	24	97	74	64	45	16	29	18	10		651	1.17	762	39																								
7	熱の使用	冷水	大手町	無	公表値		0.06	20	購			GJ	0	30	69	144	131	147	87	0	0	0	0	7		679	1.19	808	41																								

※図は「その5の2(電気・熱・都市ガス)」シートのみ表示
 その5(燃料)シート、その5の3(再エネ)シートも同様に
 対応します。
 算定報告書の様式は各自ご確認ください。

検証元の事業所名称: 株式会社東京エナジー
 指定番号: 9999
 検証の対象年度: 2025

排出量検証実施報告書 (電気・熱・都市ガス)

全数検証
 サンプル検証

検証実施日: バージョン
 不備の有無

燃料等監視点	項目	燃料等の種類	供給会社等	メニュー有無	排出係数根拠	メニュー別契約名称	排出係数(t-CO2/固有単位)	再エネ率(%)	把握方法	検定等の有無	都市ガスメーター種	単位	使用量 (2025年4月 ~ 2026年3月)												乗率	計	単位発熱量(GJ/固有単位)	熱量(GJ)	排出量(t-CO2)																								
													2025年4月			2025年5月			2025年6月			2025年7月								2025年8月			2025年9月			2025年10月			2025年11月			2025年12月			2026年1月			2026年2月			2026年3月		
													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
1	電気使用量の転記	一般送配電事業者の電線網を介して供給された電気	東京電力エナジーパートナー	無	公表値		0.376	13.6	購			kWh	12,833	11,592	11,506	14,165	13,933	12,640	12,674	13,505	12,637	12,873	10,906	13,14		152,497	8.64	1,317	57																								
2	電気使用量の転記	一般送配電事業者の電線網を介して供給された電気	東京電力エナジーパートナー	無	公表値		0.376	13.6	購			kWh	7,353	6,113	7,668	9,493	6,008	7,640	8,751	9,349	5,368	7,647	6,627	7,43		89,450	8.64	773	34																								
3	燃料使用量の転記	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正有り	m3	91,001	57,885	61,536	74,511	57,289	29,612	79,414	27,283	84,280	86,353	145,379	114.8		999,401	40.00	36,376	1,864																								
4	燃料使用量の転記	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正有り	m3	72,071	92,285	38,479	10,438	99,674	51,043											363,990	40.00	14,560	746																					
5	燃料使用量の転記	都市ガス	東京ガス	無	公表値		2.05	0	購		圧力補正無し	m3	35,247	32,315	44,888	58,490	89,213	11,331	18,570	54,938	97,215	83,061	92,201	93,03		710,505	40.00	28,420	1,457																								
6	熱使用量の転記	産業用蒸気	大手町	無	公表値		0.06	20	購			GJ	92	18	74	24	97	74	64	45	16	29	18	10		651	1.17	762	39																								
7	熱使用量の転記	冷水	大手町	無	公表値		0.06	20	購			GJ	0	30	69	144	131	147	87	0	0	0	0	7		679	1.19	808	41																								

※排出量検証実施報告書は巻末資料として
 ガイドラインに添付されています。

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン p.16 D号様式)

(1) 算定報告書記載事項の転記

サンプリング検証を用いる場合

算定報告書の「燃料等使用量」等シートから

全数検証のエネルギー種

(※1,※2)排出量検証実施報告書へ転記

燃料等使用量 監視項目	排出活動	燃料等の種類	供給会社等	エネルギー 区分	排出係数 (t-CO ₂ /燃料単位)	単位	2025年度												計	単位換算係数 (t-CO ₂ /単位)	排出量 (t-CO ₂)		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1	電気の使用	電気	関西電力株式会社	電力	0.374	kWh	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	4,474	4,474
2	電気の使用	電気	関西電力株式会社	電力	0.374	kWh	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	804	804
3	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	6,672	6,672
4	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	3,778	3,778
5	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	8,198	8,198
6	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	4,564	4,564
7	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	9,756	9,756
8	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	10,880	10,880
9	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	6,268	6,268
10	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	4,864	4,864
11	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	6,274	6,274
12	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	13,886	13,886
13	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	8,112	8,112
14	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	4,850	4,850
15	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	14,178	14,178
16	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	7,066	7,066

(※3,※4)サンプリング計画書へ転記

検証先の事業所名称		9月19日																							
指定番号	9999	検証の バージョン	1																						
検証の対象年度	2025																								
燃料等監視項目	排出活動	燃料等の種類	供給会社等	エネルギー区分	排出係数 (t-CO ₂ /燃料単位)	単位	2025年度												計	単位換算係数 (t-CO ₂ /単位)	排出量 (t-CO ₂)				
1	電気の使用	電気	関西電力株式会社	電力	0.374	kWh	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	4,474	4,474
2	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	6,672	6,672
3	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	3,778	3,778
4	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	8,198	8,198
5	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	4,564	4,564
6	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	9,756	9,756
7	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	10,880	10,880
8	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	6,268	6,268
9	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	4,864	4,864
10	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	6,274	6,274
11	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	13,886	13,886
12	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	8,112	8,112
13	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425	4,850	4,850
14	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	7,089	14,178	14,178
15	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	7,066	7,066

(※5)サンプリング対象のみ転記

検証先の事業所名称			指定番号	検証の 対象年度	検証実施日	バージョン																			
製造製作所東工工場			9999	2025	9月19日	1																			
排出量検証実施報告書(電気・熱・都市ガス)																									
<input type="checkbox"/> 全数検証 <input checked="" type="checkbox"/> サンプリング検証																									
燃料等監視項目	項目	燃料等の種類	供給会社等	エネルギー区分	排出係数 (t-CO ₂ /燃料単位)	単位	2025年度												計	単位換算係数 (t-CO ₂ /単位)	排出量 (t-CO ₂)				
1	電気の使用	電気	関西電力株式会社	電力	0.374	kWh	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	11,990	4,474	4,474
2	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	3,258	6,672	6,672
3	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889	3,778	3,778
4	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	3,999	8,198	8,198
5	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282	4,564	4,564
6	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	4,878	9,756	9,756
7	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	5,440	10,880	10,880
8	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	3,134	6,268	6,268
9	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	4,864	4,864
10	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	3,137	6,274	6,274
11	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	6,943	13,886	13,886
12	燃料の使用	都市ガス	都市ガス	無	2.05	m ³	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	4,056	8,112	8,112
13	燃料の使用	都市ガス	都市ガス																						

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン p.17 D号様式)

(2) 燃料等使用量の把握方法の検証

該当する検証方式に“○”
検証先の事業所名称
 サンプルング検証を含む場合、**両方に“○”**

指定番号	検証の 対象年度

排出量検証実施報告書(燃料)

<input type="checkbox"/>	全数検証
<input type="checkbox"/>	サンプルング検証

不備の有無を記入

検証実施日	

不備の有無	
-------	--

燃料等 監視点	項目	燃料等 の種類	把握 方法	検定等 の有無	単位	使用量 ()									
						月単位	4月	5月	6月	12月	1月	2月	3月	乗率	
	算定報告書の記載		①			算定									
	根拠資料		②			検証									
	判断結果		③			判断結果									
	算定報告書の記載					算定									
	根拠資料					検証									
	判断結果					判断結果									

① 算定報告書を転記
 ・ 算定報告書から該当する内容を転記

② 根拠資料
 ・ 根拠資料の名称(資料の発行者含む)を記入
 ・ 購買実績がないことの判断に用いた資料名を記載し、判断した理由を記入
 ・ 閉栓または撤去等の場合には、燃料等使用量監視点が消失したと判断した理由を記入

③ 判断結果
 ・ 判断結果を記入
 「適合」 ○
 「不備あり」 ×
 「不明」 /

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.17-20 D号様式)

(3) 燃料等使用量に係る関連データとの突合

検証先の事業所名称	指定番号	検証の対象年度

検証実施日	バージョン

排出量検証実施報告書(燃料)

不備の有無	
-------	--

④ 算定報告書を転記

- 「算定報告書に記載された数値」を転記
- 空欄の場合は、理由を確認し、**購買実績がない等、使用量が「0」ならば、事業者へ算定書の修正を求めること。**
- 閉栓または撤去等により、**燃料等使用量監視点が一時的または永続的に消失したことが理由である場合には、算定報告書への修正を求めなくてよい。**

単位	使用量 ()													
	月単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	乗率
算定										④				
検証										⑤				
判断結果										⑥				
算定														
検証														
判断結果														

⑤ 検証結果記入

- 「検証した数値」を記載
- 購買実績がなかった等により、**購買伝票等がないと判断した場合は「0」を記入**
- 閉栓または撤去等により、**燃料等使用量監視点が一時的または永続的に消失したと判断した場合には、該当する月の「検証」欄には「-」を記入。**
- 開栓前又は新設前に該当する月は、「検証」及び「判断結果」欄を空欄にする。

⑥ 判断結果

- 判断結果を記入
 - 「適合」 ○
 - 「不備あり」 ×
 - 「不明」 /
- 「乗率」欄の乗率について、判断及び判断結果の記入は、燃料等使用量の数値の方法と同じに実施する。

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン p.19 D号様式)

■ 排出量検証実施報告書(D号様式)

■ 「不備あり」となった事項の修正

「不備あり」の修正結果については、(後日)確認し、新たな「排出量検証実施報告書」へ記入する(新たな「排出量検証実施報告書」への記入は、再検証を行った燃料等使用量に関し、「算定」及び「検証」を1年分記入する。ただし、「判断結果」は再検証した個所のみでの記入でよい)。

記入方法

- ・再検証を行った箇所のみ記入
- ・再検証を行った監視点を**1年分**記入

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.19-20 D号様式)

■ D号様式「排出量検証実施報告書」に関する記述方法(再検証時)

Ver.1

例：監視点No.1 A重油の単位のみ、「不備あり」
 監視点No.2 5月のみ使用量に「不備あり」
 監視点No.3 判断結果が全て「適合」

検証先の事業所名称	指定番号	検証の対象年度
銀杏製作所東京工場	9999	2025

検証実施日	バージョン
2026/〇/×	1

排出量検証実施報告書 (燃料)

<input type="radio"/>	全数検証
<input checked="" type="radio"/>	サンプリング検証

不備の有無	有
-------	---

燃料等監視点	項目	燃料等の種類	把握方法	検定等の有無	単位	使用量 (2025年4月 ~ 2026年3月)																
						月単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	乗率			
1	算定報告書の記載	A重油	購		kl	算定	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0				
	根拠資料	△△納品書				検証	0	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0				
	判断結果	×				判断結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2	算定報告書の記載	液化石油ガス_LPG	購		t	算定	100	150	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500				
	根拠資料	□□請求書				検証	100	250	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500				
	判断結果	○				判断結果	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
3	算定報告書の記載	軽油	購		L	算定	100	150	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500				
	根拠資料	◇◇領収書				検証	100	150	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500				
	判断結果	○				判断結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.19-20 D号様式)

■ D号様式「排出量検証実施報告書」に関する記述方法(再検証時)

例：監視点No.1 A重油の単位のみ、「不備あり」
 監視点No.2 5月のみ使用量に「不備あり」
 監視点No.3 判断結果が全て「適合」

Ver.2

検証先の事業所名称	指定番号	検証の対象年度
銀杏製作所東京工場	9999	2025

検証実施日	バージョン
2026/○/×	2

排出量検証実施報告書(燃料)

<input type="radio"/>	全数検証
<input checked="" type="radio"/>	サンプリング検証

不備の有無	無
-------	---

燃料等監視点	項目	燃料等の種類	把握方法	検定等の有無	単位	使用量 (2025年4月 ~ 2026年3月)												乗率	
						月単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
1	算定報告書の記載	A重油	購		L	算定													
	根拠資料	△△納品書				検証													
	判断結果					判断結果													
2	算定報告書の記載					算定	100	250	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500	
	根拠資料					検証	100	250	200	300	400	500	200	200	200	300	400	500	
	判断結果					判断結果													

※Ver.1で全て適合の監視点は省略可(非表示)

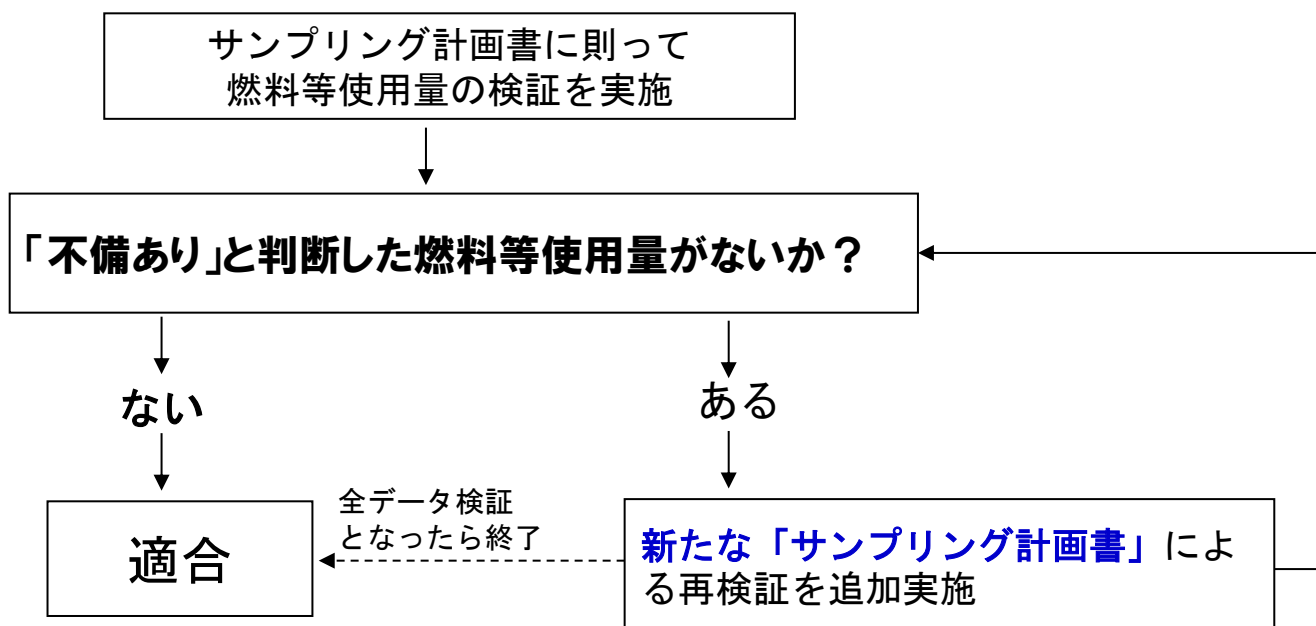
「算定」と「検証」は1年分を記入(合計を確認)

「判断結果」は該当箇所のみで良い

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.17-19 D号様式)

(3) 燃料等使用量に係る関連データとの突合 サンプリング検証を用いる場合



再検証の場合の「サンプリング計画書」における「算定データ記入ライン」の選択に当たっては、「不備あり」とされた燃料等使用量監視点を優先すること。また、「検証対象月」の選択に当たっては、突合実績のないサンプルを選択すること。

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン pp.19-20)

■不備あり／不明と判断した項目がある場合

(4) 「不備あり」となった事項の修正

発見した誤りについて、検証先の事業者に対し、**算定報告書を修正**するよう求める。

不備あり／不明と判断したバージョンの**「排出量検証実施報告書」**を保存

(5) 再検証の実施

新たなバージョンの排出量検証実施報告書を用いて**再検証**を行う。事業所が修正するなどの対応策を講じた結果を記録し、その結果、適合と判断した場合は判断結果を「○(マル)」とする。

(6) 「不備あり」「不明」のまま残った場合の対応

不備あり／不明が残った場合は、その理由を**検証結果の詳細報告書**の「**東京都と要協議の事由**」に記述する。

4. 排出量検証実施報告書を用いた検証

(検証ガイドライン p.20、A号様式)

■ 不備あり／不明と判断したチェック項目がある場合

検証結果の詳細報告書(A号様式)その3

		検証先の事業所名称	
		指定番号	
		検証の対象年度	
6 東京都と要協議の事由			
項目	不備あり /不明	「不備あり」「不明」の理由	

※検証結果の詳細報告書は巻末資料としてガイドラインに添付されています。

5. 検証機関による質問

(検証ガイドライン p.20)

- ・検証機関が**本ガイドラインによる規準**では判断ができない場合、検証機関から東京都にその判断を求める**質問を行うことができる**。
- ・質問をおこなう際、東京都が別に定める「**検証機関の質問様式**」を使用する。
- ・その際、検証機関は質問事項に対する**判断の案を添えなければならない**。
- ・また、**東京都が判断するための情報を、可能な限り入手して添付しなければならない**。
- ・「**検証機関の質問様式**」は下記URLからダウンロードできる。

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/authority_chief/question_form.html

説明の内容

検証の計画（第2章）

- ・ 検証計画に関する書類の作成
利害相反の回避の確認、検証業務を行う人員の編成
事前の概要把握、検証留意事項の評価を踏まえた検証の実施手順の決定
燃料等の種類ごとの燃料等使用量に対する検証方法の設定
（品質管理手順における確認項目）
- ・ 検証スケジュールの作成及び提出
- ・ 「サンプリング計画書」の作成（サンプリング検証を選択する場合）

検証の実施（第3章）

- ・ 事前説明
- ・ 検証チェックリストを用いた検証
- ・ 排出量検証実施報告書を用いた検証
- ・ （検証機関による質問）

検証結果のとりまとめと報告（第4章）

- ・ 検証結果のとりまとめ
- ・ 検証結果の品質管理手続及び検証報告書の確定
- ・ 検証結果報告書の提出

検証結果のとりまとめと報告 (第4章)

(検証ガイドライン pp.21-22)

1. 検証結果のとりまとめ
2. 検証結果の品質管理手続
及び検証結果報告書の確定
3. 検証結果報告書の提出

1. 検証結果のとりまとめ

(検証ガイドライン p.21)

■ 検証結果報告書の「適合」の条件

- 検証チェックリストの全項目がすべて適合
- 排出量検証実施報告書
 - ・ 「燃料等使用量の把握方法」について、排出量検証実施報告書に記載されている検証結果がすべて適合
 - ・ 「燃料等使用量に係る関連データとの突合」について、排出量検証実施報告書に記載されている検証結果がすべて適合

1. 検証結果のとりまとめ

(検証ガイドライン p.21)

東京都知事 殿 年 月 日

住所
法人名
代表者名

検証結果報告書

1 検証の対象

検証対象の種類			
検証先事業所	名称		
	所在地		
	指定番号		

2 検証の対象年度

検証の対象年度	年度
---------	----

3 検証を実施した登録検証機関

登録区分				
登録番号	登録年月日	年	月 日	
営業所の名称				
営業所の所在地				
検証主任者	部署名			
	氏名			
	登録番号	登録年月日	年 月 日	
	連絡先	電話番号		
		電子メールアドレス		

4 利害相反の回避

検証先事業所が登録検証機関と著しい利害関係を有する事業者の設置している事業所でないことその他の利害相反の回避の確認 確認済み

5 検証結果

検証結果	適合	東京都と要協議
検証された排出量、一次エネルギー使用量、削減量、対策の推進の程度等		

検証結果報告書の「適合」の条件を満たす場合には、「検証結果報告書」の「検証結果」の「適合」欄に○を記入

検証結果	適合	東京都と要協議
	<input checked="" type="radio"/>	

2. 検証結果の品質管理手続及び検証結果報告書の確定

(検証ガイドライン pp.21-22)

■品質管理手続

当該案件を担当していない検証業務部門の検証主任者又は管理・検証精度確保部門が次の観点から確認する。

- ・検証機関が定めた手続に沿って検証が行われ、そのすべての手続が完了していることを評価する(プロセスレビュー)。
- ・検証意見が適切なものであることを評価する(テクニカルレビュー)。

※確認した各項目についての結果を記録し、検証結果報告書の関連資料として保管しなければならない。

■検証意見の確定

検証業務部門又は管理・検証精度確保部門の責任者による承認を経て、検証機関の責任をもって検証意見を確定させなければならない。

3. 検証結果の報告書の提出

(検証ガイドライン p.22)

■ 報告書の提出義務

- ・ 以下の書類を検証対象事業所に提出する。
- ・ 各報告書の写しを帳簿の記載の日から起算して7年間保管しなければならない。
 1. 検証結果報告書
 2. 検証結果の詳細報告書(A号様式)
 3. サンプルング計画書(B号様式)
 4. 特定温室効果ガス検証チェックリスト(C-1号様式)
 5. 「根拠とした図面等資料一覧表」(C-2号様式)
 6. 排出量検証実施報告書(D号様式)

※聴取に対応できるように検証意見を確定させた際の資料(検証計画に対する実績を記載した資料、各レビューを実施するための根拠資料、検証チェックリスト以外の根拠資料など)も上記の各書類と併せて保存すること。

- ・ また、検証機関は検証業務の実績を電子データに記録し、原則として、当該年度の12月末までに一括して東京都へ提出する(対象:検証結果報告書・詳細報告書)。
ただし、検証先の事業者が電気の排出量算定にメニュー別排出係数を使用している場合は、当該検証業務が終了した後に、東京都へ提出するものとする。



ゼロエミッション東京の実現に向けて

TIME TO ACT

—今こそ行動を加速する時—

